

ポーラ化成、現役東大生で化学者兼発明家 村木風海氏の CRRA と 環境問題解決など SDGs 達成へ向けて連携

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:釘丸和也)は、2021年1月に、「地球を守り、火星を拓く」を目指す研究開発機関 CRRA(一般社団法人 炭素回収技術研究機構、東京都江東区、機構長:村木風海)と技術指導契約を結びました。村木氏を「特別研究員」に迎え、環境負荷のさまざまな課題を解決するために、業務連携を開始します。



ポーラ化成工業 横浜研究所



CRRAの村木風海機構長



化粧品業界が抱える環境問題に、二酸化炭素の活用で解決を図る業務提携

現役の東京大学学生でもある CRRA 機構長の村木風海(むらきかずみ)氏は、温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)を空気中から直接回収することや、CO₂ からエタノールをはじめ石油に代わる燃料を作り出すなど、炭素循環型社会を目指した技術の開発を精力的に行っています。さらには、これらの技術も活用しながら有人火星探査を目指した研究も推し進めています。

一方、化粧品業界では、持続的な社会の実現と、国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の達成にむけて、CO₂ 排出や廃プラスチックの削減などさまざまな環境負荷の課題解決を図る取り組みが求められています。いかに環境に配慮した製造工程・製品づくりに取り組んでいくかが課題となります。

ポーラ化成工業とCRRAは、これらの課題解決に向けて協力・タッグを組むことで方向性が一致し、連携を開始しました。村木氏はポーラ化成工業フロンティアリサーチセンター(FRC)の「特別研究員(サイエンスフェロー)」に就任し、「環境保全に役立つ」製品開発の技術指導を行います。例えば、CO₂からエタノールなどを作る技術を活用すると、化粧品の内容物や容器の原料の一部を自然界に存在する空気から作り出すことができます。これにより、CO₂回収に貢献しながら石油への依存を軽減するなど、画期的な転換を図ることができると期待されます。また、講演などを通じて村木氏ならではの価値観や課題意識を共有いただきながら、化粧品の枠を超えた新領域での成果創出にも取り組みます。

■ポーラ化成工業 取締役 研究担当 末延 則子のコメント

この度、FRC特別研究員として村木風海さんをお迎えした事を大変うれしく思います。当グループでは、持続可能な社会の実現に向け、環境保護に資するオリジナル技術の構築に取り組んでいます。CRRAの保有する独自技術と斬新なアイデアそして、村木さんの熱意とバイタリティーに大いに刺激を受けつつ、連携して新価値創造を実現できることをとても楽しみにしています。

■CRRA機構長 村木 風海氏のコメント

地球温暖化を解決する方法から人類の火星移住までを一貫して研究する機関である CRRA では、空気中から集めたCO₂からの化学合成により、既存の石油製品を全て空気から作った「空気製品」に置き換えていくことに挑戦しています。この度特別研究員としてポーラ化成の皆様と共にこの新しい冒険に乗り出せることが非常に楽しみであり、空気製品を実現し温暖化を止める流れがさらに加速することを期待しています。

ポーラ・オルビスグループは今後も、多様な機関とオープンイノベーションを進め、革新的な発想とアクションで皆様を笑顔にする研究や製品・サービスへとつなげていきます。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

【補足資料1】ポーラ化成工業株式会社について

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担います。研究所の Frontier Research Center (FRC: フロンティアリサーチセンター) では、株式会社ポーラ・オルビスホールディングスの Multiple Intelligence Research Center (MIRC: マルチプルインテリジェンスリサーチセンター) が決定した研究戦略に基づいて、新規有効成分の開発や化粧品の新価値創出を担うなど、新規・既存事業へ活用するシーズを創出しています。

POLA R&M
POLA CHEMICAL INDUSTRIES, INC.

frc
frontier
research center

ポーラ化成工業株式会社 ホームページ <http://www.pola-rm.co.jp/index.html>

研究紹介: YouTube「みるらぼ」 <https://www.youtube.com/channel/UCIq3yhb0N4zgbBz4QqtIYvA>

【補足資料2】CRRA(シーラ :一般社団法人 炭素回収技術研究機構)について

地球温暖化を止める方法から人類の火星移住の実現まで一貫して研究を行う機関です。現役で東京大学に在籍する化学者兼発明家の村木風海(むらきかずみ)氏が機構長として創設し、独立した研究開発を行っています。

CRRA
炭素回収技術研究機構
Carbon Recovering Research Agency

「地球を守り、火星を拓く」をモットーとし、世界最先端の気候工学・CO₂直接空気回収分野に取り組む他、空気から石油の代替燃料を製造する研究、そして有人火星探査の研究を推し進めています。

村木機構長は小学4年生の時から、地球温暖化を止めるための発明と人類の火星移住を実現させる研究を行っており、2017年には ボタン1つで誰でも簡単に空気中から二酸化炭素を集められる家庭用装置「ひやっしー」を開発。2019年8月には世界を変える30歳未満の日本人30人として、Forbes Japan 30 UNDER 30 2019サイエンス部門を受賞し、企業向けに温暖化防止コンサルティング等も行っています。

CRRA ホームページ <https://www.crra.jp/>